

王子五丁目団地

自治会会報

第157号・1997年4月6日
公団王子五丁目団地自治会
東京都北区王子5丁目2番
編集責任者・木元 章喜
発行責任者・滝沢 勝
自治会連絡所(集会所No.1)
(電話) 3913-6723
【開設時間】月～金 10時～16時

- 公団王子五丁目団地自治会
第21回定期代議員総会
日時 4月13日(日)午後1時～3時
場所 団地集会所2・3号室
議題
1、1996年度活動報告
2、民営化問題特別報告
3、1996年度決算報告
4、会計監査報告
5、1997年度活動方針の決定
6、1997年度予算の決定
7、役員選出についての選挙管理委員会報告
8、その他

今年やはりがんばります

1997年度(第21期)に
自治会が取り組む課題(案)

行政改革の名のもとにすすめられようとしている「公団住宅民営化」に反対し、すべての居住者が安心して住み続けられる団地にするために、積極的な取り組みをすすめて、災害対策・住環境向上・モラル問題などにわたるこれまでの経験をいかして、入居20年を経た新たな視点からの検討を加えて居住者のみなさんにとりかねばなりません。

公団住宅民営化に反対し
住まいを守るために

- 1、住都公団廃止、公団住宅民営化に反対し、国民の期待にこたえるよう公共住宅政策の拡充を求めます。
2、公団家賃の3年毎のくり返し値上げに反対し、高齢者世帯、母子世帯などへの家賃補助・減額制度などいっそうの福祉的施策を導入した定住できる公団家賃制度の確立を求めます。

安全で住みやすい
団地づくりのために

- 1、災害に対する取り組みを進めます。
①阪神大震災を教訓として、王子五丁目団地の安全総点検をすみやかに実施するよう公団に求めます。

- ②災害時の広域避難場所の指定団地としての認識を新たに、関係機関との連携を強めていきます。
③自治会の自主的な防災組織のいっそうの充実をはかり、日常的な防災意識の啓蒙などをすすめます。
2、居住環境の悪化を防ぎ、向上させるために公団に働きかけます。
①「総合的団地環境整備」事業が団地の住環境向上につながるよう求めます。
②団地内での交通体系(特に車輛通行)の改善、不法駐車や、不当な車両進入を防ぐための対策をすすめます。また、団地内の騒音対策を公団などの関係機関に引き続き働きかけます。

地域社会の確立と
ゆたかな
団地づくりのために

- 1、青少年問題をはじめ各世代を視野にいたれた活動をすすめます。
①19期から開催している「青少年問題を考える地域懇談会」を引き続き開催します。
②団地に居住するあらゆる世代の人を対象にした新たな取り組みを企画し開催します。
2、リサイクル活動を定着・発展させます。
①排出ゴミの減量運動を進めます。
②「空きカン・ビン」のリサイクル体制を維持・発展させるべく、故紙、紙バック、不要放置自転車などの資源有効活用をすすめます。そのための団地内リサイクルシステムの確立を推進していきます。
③リサイクル活動に必要な環境・条件整備を公団や北區に働きかけます。

- 3、生活にうるおいを与える各種行事や取り組みをおこないます。
①第21回団地まつりを今年の夏も2日間開催します。さらにファミリー運動会、フェスタ王五、新年会などの行事をおこないます。また、このほり上げ、こどもクリスマス会などの季節の取り組みをおこなうとともに、北區青少年王子地区委員会の各種行事にも構成団体として積極的に参加します。
参加者が少なくなっている行事は、内容等を検討し改善します。また、新たな行事の企画・立案をすすめて、多様な要求に応えるものにしていきます。
②自治会共済制度の維持、小学校新入児童・新成人へのお祝い、桜美会(団地内の高齢者クラブ)活動に協力するべく、敬老会をおこないます。さらに団地内での高齢者の社会参加などについての活動をすすめます。
③灯油の共同購入、協定業者と提携しての引越しあつせんなど利便供与の取り組みを引き続きおこないます。

- 3、修繕問題に意欲的に取り組みます。
①公団の負担による修繕枠の拡大を引き続き求めます。
②共用部分の修繕の確実な実施と、共益費の適切な運用を求めます。
4、団地生活のモラル向上とルール
確立の活動をすすめます。
①団地内の共用部分を大切にすよう呼びかけていきます。
②団地内や地下鉄駅前の放置自転車対策をすすめます。
③ゴミ置き場や、ダストシュートの適切な使用と粗大ゴミ出しのルールを守るよう働きかけます。
④生活騒音への配慮や、水漏れ事故防止を呼びかけることと、ペット問題を含む集合住宅の基本的なマナー確立を働きかけていきます。
⑤夜間のバイク騒音、駐輪場での自転車・バイクへのいたずらや、放火などの対策をすすめます。
⑥団地内における交通事故や犯罪防止を、警察・公団などと協力してすすめます。

- 4、北区立郷土資料館閉館後の利用
計画について取り組みます。
現在建設中の郷土博物館の開設により、移転・閉館される郷土資料館の跡地計画について、北區・北區教育委員会と話し合い、団地エリアの一部にふさわしい計画と利用を要望していきます。
5、北區などの行政・公的機関の委託
事務をおこなう、居住者とのパイプの役割をすすめます。
6、渉外活動、関係団体との連携・
協力をすすめます。
①住都・都市整備公団、日本総合住宅生活(J.S.)、北區などと系統的に話し合いをおこないます。
②全国公団住宅自治会協議会、東京23区公団住宅自治会協議会、王子出張所管内連合町会、王子および北區自治会連合会、王子防火協会、王子赤羽清掃協力会、北區社会福祉協議会、北區赤十字奉仕団王子分団などの連携や活動を継続発展させます。
③他の公団団地自治会、近隣自治会・町会、北區青少年王子地区委員会、王子五丁目団地商店会、団地内のスポーツ・趣味のサークル、小・中学校とPTA、児童館、幼稚園、保育園、学童クラブ、近隣の病院や、公共的組織などとの連携・協力活動をすすめます。
④赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金、献血など日赤奉仕活動に必要な協力をします。
⑤自治会推薦の「北區明るい選挙推進委員」、「王子保健衛生委員」を先頭に、明るい選挙推進活動、保健衛生活動に協力します。

自治会活動の
充実と発展のために

- 1、全ての居住者参加の自治会づくりをめざします。
①全居住者に対して入会の働きかけを引き続きおこなっていきます。
②団地内の全ての店舗に「賛助会員」参加の働きかけを引き続きおこなっていきます。
2、会員の期待と信頼にこたえる自治会活動をさらにすすめます。
①役員会、運営委員会、各専門部、各常任・特別委員会、事務局の運営の強化をはかり、発展させます。
②会報の発行やポスターの掲出など広報活動をよりわかりやすく充実させます。
③自治会外団体として設立し、運営している「王子コミュニティセンター」のよりいっそうの活用を研究・検討し事業をすすめます。

- 5、北區などの行政・公的機関の委託
事務をおこなう、居住者とのパイプの役割をすすめます。
6、渉外活動、関係団体との連携・
協力をすすめます。
①住都・都市整備公団、日本総合住宅生活(J.S.)、北區などと系統的に話し合いをおこないます。
②全国公団住宅自治会協議会、東京23区公団住宅自治会協議会、王子出張所管内連合町会、王子および北區自治会連合会、王子防火協会、王子赤羽清掃協力会、北區社会福祉協議会、北區赤十字奉仕団王子分団などの連携や活動を継続発展させます。
③他の公団団地自治会、近隣自治会・町会、北區青少年王子地区委員会、王子五丁目団地商店会、団地内のスポーツ・趣味のサークル、小・中学校とPTA、児童館、幼稚園、保育園、学童クラブ、近隣の病院や、公共的組織などとの連携・協力活動をすすめます。
④赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金、献血など日赤奉仕活動に必要な協力をします。
⑤自治会推薦の「北區明るい選挙推進委員」、「王子保健衛生委員」を先頭に、明るい選挙推進活動、保健衛生活動に協力します。

1996年度 第20期 自治会が取り組んだ活動のまとめ

公団王子五丁目団地自治会は、1977年の設立以来「安全・安心・快適に住みつづけられる団地づくり」のためにさまざまな取り組みをしてきました。今期は、1976年3月の団地入居開始から20年を迎えました。20周年記念式典・祝賀会をはじめ、団地生活へんり賑の作成など20年を記念してさまざまな行事をおこなってきました。この1年を振り返り、会員世帯のみならずにもさまざまな運動や活動を課題別に報告します。

1. 公団住宅を守り、住みよい安全な王子五丁目団地にするために

今年1月、亀井建設大臣の「住居都市整備公団の住宅部門からの撤退」発言で「民営化」の動きが急浮上してきました。居住者無視の「公団住宅廃止・民営化」反対の立場で、緊急の住民集会や、全国の自治会とともに建設大臣宛の署名運動、北区4団地共同で区議会への陳情

行動などをおこないましたが、この問題は私たちの「住まい」の問題にとどまらず、国政の住宅政策に関わる非常に重要な問題という観点で今後も「公団住宅民営化」反対の運動を強める必要があります。

防災対策として、95年1月の阪神・淡路大震災を教訓とした団地内の安全総点検を公団に求めました。

周辺の町会・自治会と連携した防災アンケートや防災訓練を実施して、地区の

防災計画を作成しました。また、居住者への防災用品のあっせん、自主防災組織の機材充実や防災用トイレの設置などをすすめました。

住環境の維持向上に関わる諸課題では、居住者の立場に立った建設・整備を提案・要求し成果をあげました。外壁修繕工事は6号棟・5号棟が完了し、3年間かけすべて終了しました。雑排水管改修工事も1号棟・2号棟が終了しました。

引き続き住環境維持のため公団東京社等との協議を進めています。

住環境の維持と向上の取り組みは、関係機関への働きかけとともに、居住者一人ひとりの理解と協力が重要です。自治会は、ゴミの分別収集、粗大ゴミの処理、整理整頓駐輪、放置自転車、車両の

団地内不法進入・不法駐車、エレベーター・外壁など共用部分への悪質ないたずらなど、モラル問題について会報などで啓蒙し、居住者への理解と協力を求め、意識向上につとめてきました。

放置自転車や地下鉄王子神谷駅前自転車問題では、区役所など関係する機関等とも話し合いをおこなったり、実態調査も進めてきました。

95年12月に起きた「2号棟南側の空き瓶落下事件」を契機に、夜間団地内でのたむろしている青少年問題を中心に話し合う「地域懇談会」を、引き続き開催しました。

多様化する社会状況を反映し、子どもたちを取り巻く環境も複雑になっています。王子五団地が、ふるまこの子どもたちが生きいきとした学校生活を送れる

よう、引き続き桜田小学校・中学校をはじめ関係する諸団体とともにこの地域懇談会を開催していきます。

2. 地域社会の確立とゆたかな団地づくり

リサイクル活動では、故紙・雑誌・古着の分別回収へ1996年度合計25・6トン、空きカン・ビンのスーション回収も順調にすすんでいます。より一層の「リサイクル型団地」をめざして関係機関との話し合いを続けています。

最大のイベント「第20回団地まつり」をはじめ「フェスタ王子96」「第19回敬老会」「新年会」「第25回麻雀大会」「子どもクリスマス会」「星空の下の水泳会」などの催しや老朽化のため今

期で最後となる「じゃぶじゃぶ池」の運営、新成人(58名)、小学校新入学児童(32名)へのお祝いもおこない大変喜ばれました。東京23区自治会主催の「ハゼ釣り大会」「囲碁将棋大会」、連合町会や青少年地区委員会で開催した「ふるさと王子大運動会」「ウォークラリー」「球技大会」「サバイバルキャンプ」「風つくり、風あひ」などの取り組み、PTAも加わっての「早起きラジオ体操」と、多彩で楽しく意義あるものでした。

「ファミリー運動会」は衆院選挙の投票日となり公民権行使を重視し中止とし、代わりにフェスタ王子の中で福引き大会を開催し、大好評を得ました。

各種の行事取り組みでは、居住者の年

3. 団地生活になくはない自治会活動

自治会は行政・公的機関の窓口として、さまざまな委託事務や、広報活動をおこなっています。団地居住者と行政の

代構成の変化に伴い、その構成に合わせて内容にすることも必要になってきています。とくに子どもを中心にした取り組みは全体的に参加者が少なくなっています。

年のオープン以来多くの子どもたちに親しまれてきましたが、施設の老朽化などもあり団地環境整備事業にともない、水飲広場として再整備されます。

自治会の外郭団体である王子コミュニティセンターが窓口となっており、一般利用可能な「浄水器」「クイッキ(クリル用天然沸石)」「販売」「引越しあかせん」などには外壁修繕工事に伴うペランダ床置き「エアコン室外機の移動・移設あかせん」を実施しました。

パート役として自治会は大きな役割を果たしています。地域のコミュニティ組織としての自治会の存在が注目されています。安全で安心して住みつづけられる王子五丁目団地へんりのためにも、会員世帯数の横ばい状況を脱し全世帯の自治会加入を働きかけていくことが重要となつていきます。

自治会は、専門部体制の変更を伴う強化等を実施してきましたが、今期も役員が定数に満たない中で、数多くの役員会、運営委員会の開催や専門部の会議等も開き会員世帯に支援も求めつつ活動してきました。また、他の公団団地自治会や居住者と連携をはかるために、東京23区公団住宅自治会協議会、全国公団住宅自治会協議会(副会長を役員として派遣)の主要な構成自治会として力を発揮してきました。

自治会共済(火災水漏れ見舞金制度)も継続維持しています。

民生委員、北区王子保健衛生委員、明るい選挙推進委員、王子防火協会、王子地区防災を考える会、王子地区防災会議など公的機関の委員推薦、また赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金などの活動にも責任をもって対処してきました。

自治会活動の発展を志向し外郭団体として設立した王子コミュニティセンターは6年を経、新たな展開を検討しつつタジマ前の自転車整備をはじめ各種のあかせん等環境の維持向上や会員の利便供

与に関

事業をすすめてきました。



団地名物第20回団地まつりでの大人みこしの巡行 ('96・8月3・4日)



大やぐらを囲んで大人も子どもも盆踊りを楽しんだ (20回団地まつり)



子どもの笑顔がなんとも可愛い ('96・12月14日子どもクリスマス会)



20周年記念式典・祝賀会も盛大に ('96・9月29日桜田小)

1996年度特別会計報告

自1996年4月1日 至1997年3月31日

環境リサイクル特別会計

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越金, 合計. Rows include 前期繰越金, 紙等回収報奨金, etc.

家賃問題特別会計

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越金, 合計. Rows include 前期繰越金, 96年統一行動カンパ受取利, etc.

灯油共同購入特別会計

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越金, 合計. Rows include 前期繰越金, 96年度灯油券受取利, etc.

区事務委託料特別会計

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越金, 合計. Rows include 前期繰越金, 96年度事務委託料受取利, etc.

団地まつり特別会計

Table with 4 columns: 収入, 支出, 繰越金, 合計. Rows include 前期繰越金, 居住者寄付金, etc.

合同貸借対照表

1997年3月31日

Table with 4 columns: 資産の部, 金額, 繰越金, 金額. Rows include 現普通定, 預金, etc.

(注1) 私道防犯灯補助金繰越金... (注2) 1991年度、1995年度に支出した外郭団体(有)王子コミュニティセンターの資本金3,000,000円は、自治会より貸付金扱いとして次年度に引き継ぎます。

公団民営化ゆるすな

居住者署名1000世帯こす

住宅・都市整備公団改革に関する意見書

北区内4団地共同で陳情

北区議会が全会一致で採択

消費税率のアップを控えて、行政改革を前に見えるか... 北区議会では、3月28日の本会議において先に提出した陳情が一部修正されたものの採択され区議会からの意見書として、建設大臣に提出されました。

住宅・都市整備公団改革に関する意見書

住宅・都市整備公団は、大都市圏を中心に住宅・宅地供給と都市整備を目的に発足し、これまで賃貸住宅約72万戸、分譲住宅約27万戸を供給してきた。

しかしながら、現在、公団住宅に求められているのは、高家賃の引き下げによる入居者の居住の安定、一建て替え、事業の抜本的見直し、そして入居者の負担能力に見合った家賃制度を確立することであり、居住者の不安に添えるべく住都公団への官像天下りを禁止し、経営管理の情報公開を促進して行くことである。

よって、本区議会は政府に対し、公団のあり方については、住都公団に住む人々が生活の基盤である住宅に安心して住み続けられるよう、適切な住宅政策の推進を図る立場から慎重な検討を行うよう求めるものである。

右、地方自治法第九十九条第二項の規定に基づき、意見書を提出する。

平成九年三月二十八日

建設大臣 亀井 静香 殿

東京都北区議会議長 安田 勝彦

会計監査報告書

公団王子五丁目団地自治会の1996年度会計監査を4月1日夜、自治会事務所で実施しました。貸借対照表および決算書の正確性、資産の監理状況、業務処理状況について詳細に監査したところ、いずれも的確に処理されていることを確認しました。

- 照合資料 1. 金銭出納帳および預金通帳 2. 収支伝票および付属証拠 3. 科目別勘定台帳 4. 会費納入台帳

1997年4月1日 会計監査委員 小野寺 千恵子 井上 和子

1996年度 決算報告

自 1996年4月1日
至 1997年3月31日

1997年度 予算案

自 1997年4月1日
至 1998年3月31日

収入の部

科目	予算額	決算額	増減
会費等収入	7,820,000	7,230,100	-589,900
会費収入	7,200,000	6,634,500	-565,500
入会金収入	20,000	7,600	-12,400
賛助会費	600,000	588,000	-12,000
区助成金等	453,000	453,000	0
区事務委託料特別会計繰入	540,000	540,000	0
事務機器等使用料	350,000	426,739	76,739
雑収入	250,000	189,031	-60,969
前年度繰越金	165,003	165,003	0
合計	9,578,003	9,003,873	-574,130

収入の部

科目	予算額
会費等収入	7,830,000
会費収入	7,200,000
入会金収入	30,000
賛助会費	600,000
区助成金等	453,000
区事務委託料特別会計繰入	500,000
事務機器等使用料	420,000
雑収入	200,000
前年度繰越金	83,361
合計	9,486,361

支出の部

科目	予算額	決算額	増減
自治会活動費	1,500,000	1,228,454	-271,546
活動費	800,000	760,669	-39,331
通信費	100,000	85,135	-14,865
交通費	250,000	117,200	-132,800
慶弔費	200,000	160,000	-40,000
会議費	150,000	105,450	-44,550
広報費	800,000	515,877	-284,123
行事費	1,000,000	1,253,985	253,985
運動会費	250,000	0	-250,000
敬老会費	250,000	212,342	-37,658
じゃぶ池運営費	250,000	195,738	-54,262
その他行事費	250,000	845,905	595,905
共済費	350,000	326,160	-23,840
事務局活動費	3,146,000	3,158,388	12,388
事務局員活動費	2,696,000	2,623,100	-72,900
配布料	450,000	535,288	85,288
運営費	1,220,000	1,320,148	100,148
事務所経費	420,000	420,180	180
消耗品雑費	400,000	499,229	99,229
備品購入費	100,000	104,717	4,717
備品リース費	300,000	296,022	-3,978
分担金	582,000	581,500	-500
公団自治協	480,000	480,000	0
連合町会	66,000	65,500	-500
防火協会	25,000	25,000	0
清掃協力会	11,000	11,000	0
20周年記念事業費	400,000	0	-400,000
事務所確立積立引当金	260,000	360,000	100,000
慰労金積立引当金	184,000	176,000	-8,000
予備費	136,003		
合計	9,578,003	8,920,512	-521,488
次年度への繰越金		83,361	
総合計	9,578,003	9,003,873	-521,488

支出の部

科目	予算額
自治会活動費	1,400,000
活動費	800,000
通信費	100,000
交通費	150,000
慶弔費	200,000
会議費	150,000
広報費	800,000
行事費	850,000
運動会費	250,000
敬老会費	250,000
その他行事費	350,000
共済費	350,000
事務局活動費	3,269,000
事務局員活動費	2,769,000
配布料	500,000
運営費	1,400,000
事務所経費	450,000
消耗品雑費	500,000
備品購入費	150,000
備品リース費	300,000
分担金	582,000
公団自治協	480,000
連合町会	66,000
防火協会	25,000
清掃協力会	11,000
記念事業特別会計引当金	100,000
事務所確立積立引当金	360,000
慰労金積立引当金	189,000
予備費	186,361
合計	9,486,361

20周年記念事業会計報告

収入		支出	
20周年記念事業積立金	921,300	式典祝賀飲食費	563,845
式典参加者会費	64,000	式典参加者土産代	179,059
式典対外関係祝金	576,000	20周年記念冊子代	37,875
		式典諸機材費	42,565
		式典備品等事務代	30,713
		記念事務機器代	367,513
		繰越金	339,730
合計	1,561,300	合計	1,561,300

(注)繰越金は「記念事業特別会計」を設け次年度へ繰り越し、今後の記念事業で運用します。

(有)王子コミュニティセンター 第6期営業報告書 貸借対照表

1997年2月28日

資産の部		負債及び資本の部	
流動資産		流動負債	
現金	2,727	未払金	56,000
銀行預金(普)	1,114,160	未納税充当金	129,700
銀行預金(定)	2,005,617	負債合計	185,700
未収金	70,000	資本の部	
		資本金	3,000,000
		当期末処分利益	6,804
		(うち当期利益)	(154,383)
		資本合計	3,006,804
合計	3,192,504	合計	3,192,504

損益計算書

自 1996年3月1日
至 1997年2月28日

科	目	金額
経常利益の部	営業収益	3,494,534
	売上高	3,494,534
	営業費用	3,348,209
	売上原価	2,856,730
	一般管理費	491,479
	営業利益	146,325
	営業外収益	8,058
	受取利息	8,058
	貸倒引当戻入	
	雑収入	
営業外費用		
支払利息		
雑損		
経常利益	154,383	
税引前当期利益	154,383	
法人税等引当金	129,700	
当期利益	24,683	
前期繰越損失	-17,879	
当期未処分利益	6,804	

利益金処分

当期末処分利益	6,804
これを次の如く処分致します	
次期繰越利益	6,804